

平成29年7月秋田豪雨災害 調査報告

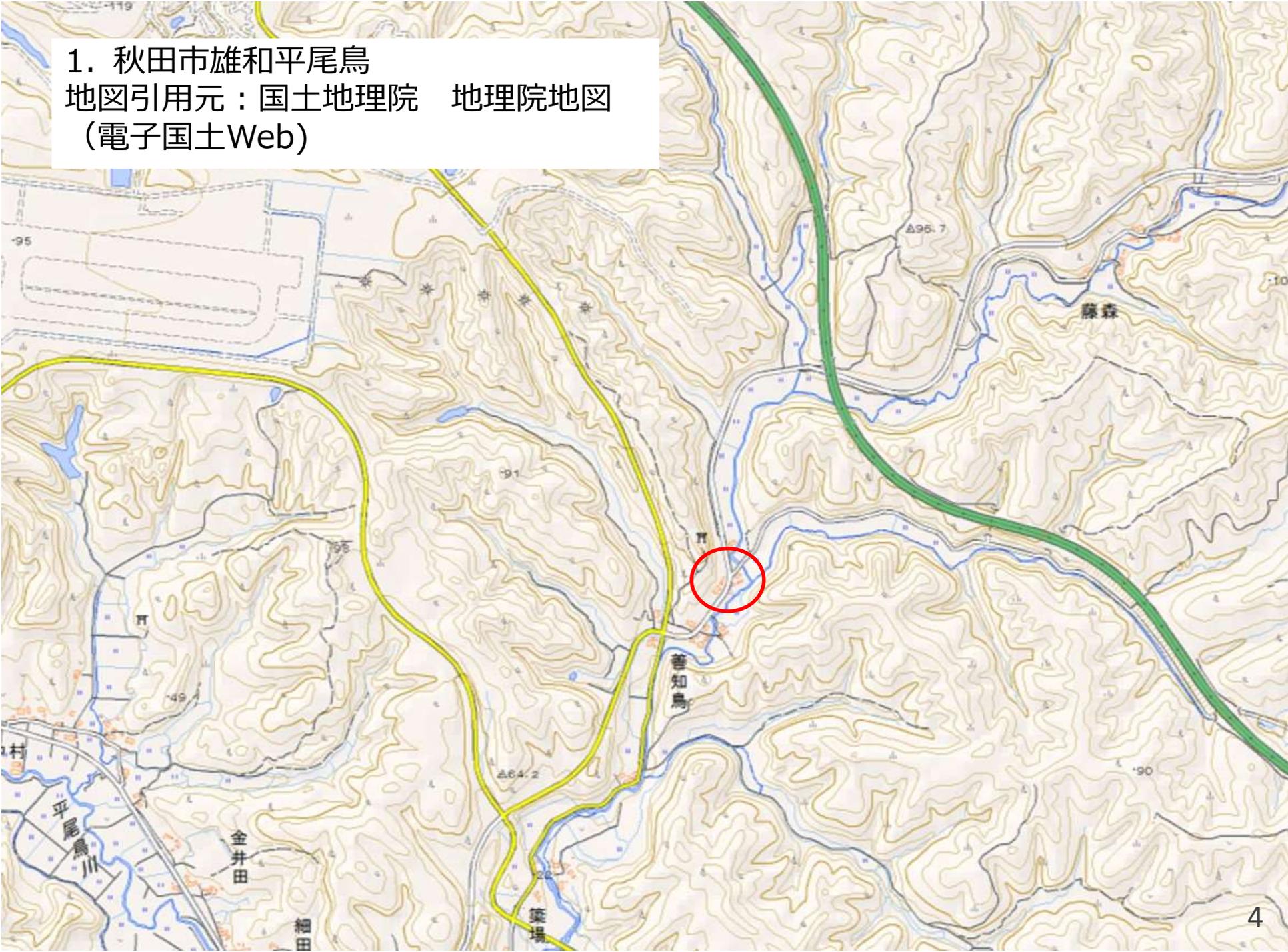
現地調査実施日：2017年8月2日

調査メンバー： 鈴木 素之（山口大学）
野田 龍（秋田大学）
田口 岳志（秋田大学）

秋田県では平成29年7月21日~23日にかけて記録的な大雨が降り、大仙市などでは降り始めからの雨量が平年の1カ月分（7月）を大幅に超え、300mm強を記録した。

浸水被害は住宅で2206棟、小屋などが167棟、企業など事業所への被害は275件にのぼった。

1. 秋田市雄和平尾鳥
地図引用元：国土地理院 地理院地図
(電子国土Web)

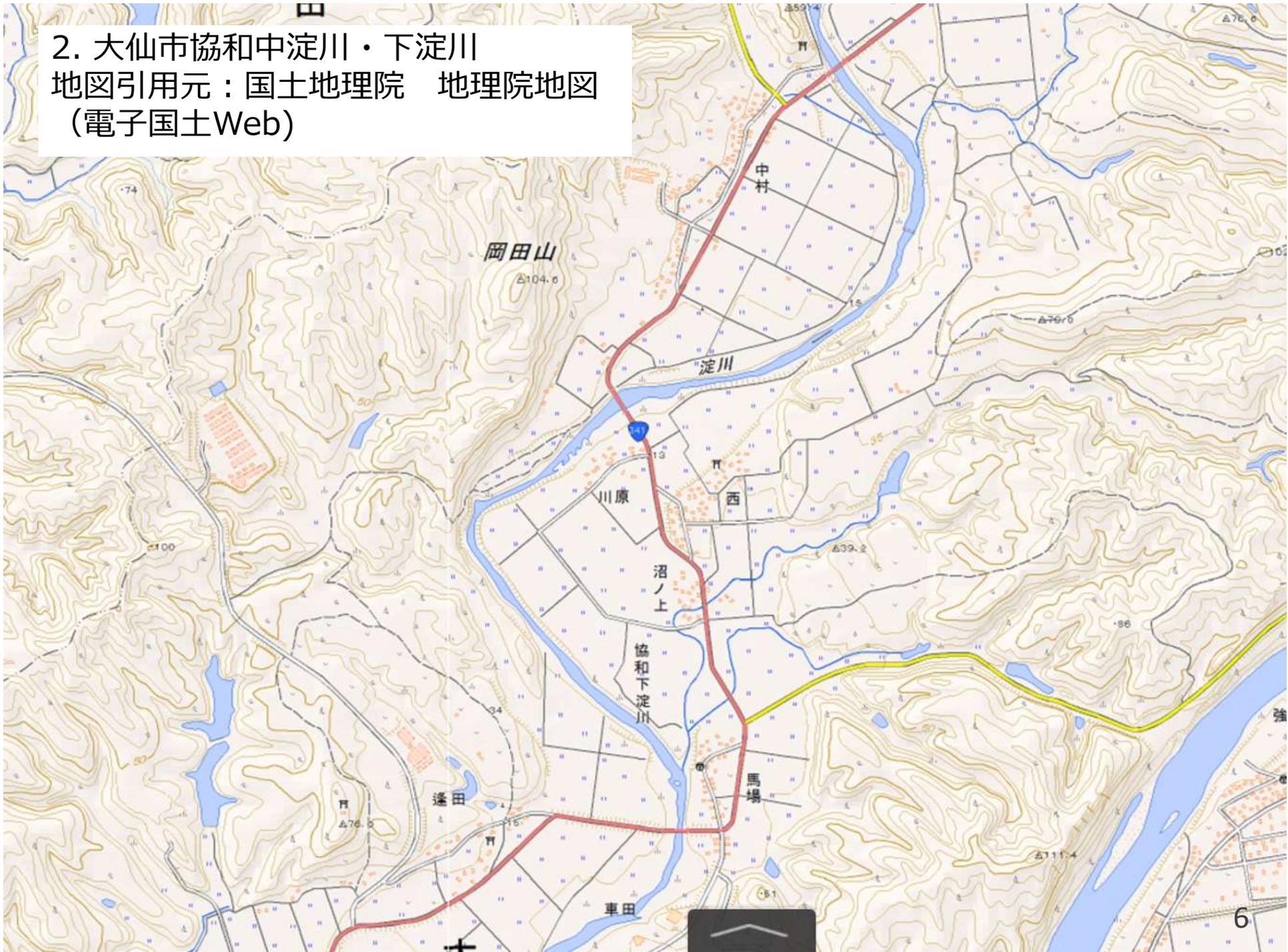


1. 秋田市雄和平尾鳥



雄和平尾鳥地区では、広範囲に渡るのり面の表層崩壊が発生していた。突き出た斜面（出っ張っている部分）は側面の拘束がないので、その先端が崩壊しやすいと思われる。

2. 大仙市協和中淀川・下淀川
地図引用元：国土地理院 地理院地図
(電子国土Web)



2. 大仙市協和中淀川・下淀川



大仙市協和中淀川・下淀川地区において床上浸水，洪水による流木の堆積，道路標識やアスファルトの損壊が多数みられた。

2. 大仙市協和中淀川・下淀川



4.大仙市協和小種

地図引用元：国土地理院 地理院地図

(電子国土Web)



4.大仙市協和小種



泉沢溜池の堤体（高さ7~8m）の一部が崩壊していた。

溜池の堤体内側からの写真。かろうじて堤体からの貯水の大量流出は免れていた。写真奥の天端に越水痕跡はみられなかった。



堤体下部の断面の一部に漏水に伴う侵食作用を受けたとみられる箇所がみられた。



5. 大仙市協和新波 防雪柵

防雪柵には大量の流木が堆積していた。



7. 県道44号 (雄和岩城線)

地図引用元：国土地理院 地理院地図
(電子国土Web)



7. 県道44号（雄和岩城線）

沢渡り盛土された道路が崩落していた。



7. 県道44号 (雄和岩城線)

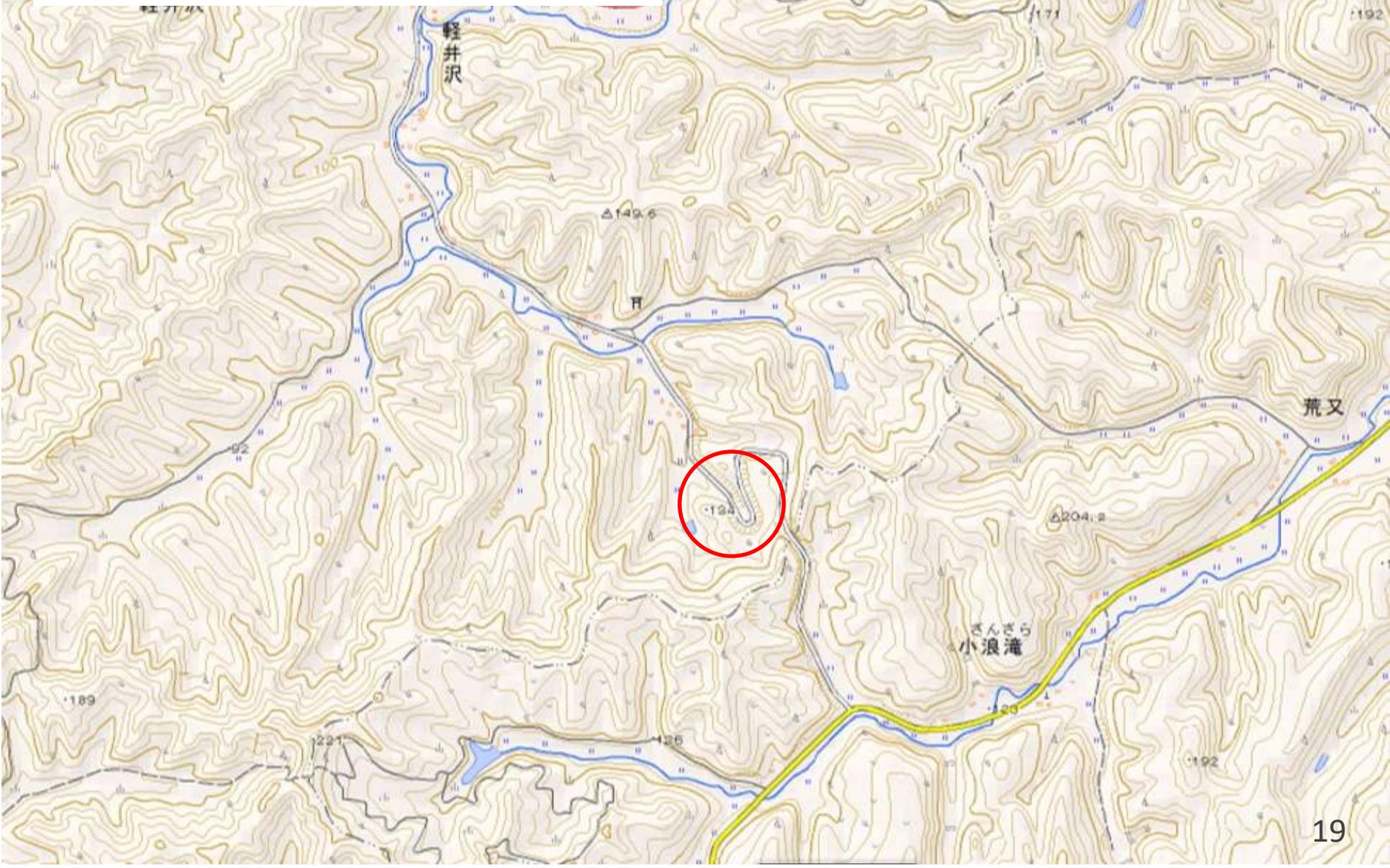


7. 県道44号（雄和岩城線）反対側



秋田県の山間部の古い道路には同様な施工が多い。盛土材の土質特性・状態と排水設備の状況を調査する必要がある。

8.由利本荘市羽広
地図引用元：国土地理院 地理院地図
(電子国土Web)



8. 由利本荘市羽広



山間部の道路において土砂崩壊によって完全に道路が閉塞されていた。

8.由利本荘市羽広

円弧すべり（半径10m程度の）が確認された。比較的均質な土質なのであろうか？



8.由利本荘市羽広（地点2）

上記の道路の10m先にも同様な崩壊が発生していた。晴天時であるが、水が崩積土から滲み出ており、斜面から供給され続けていると思われる。

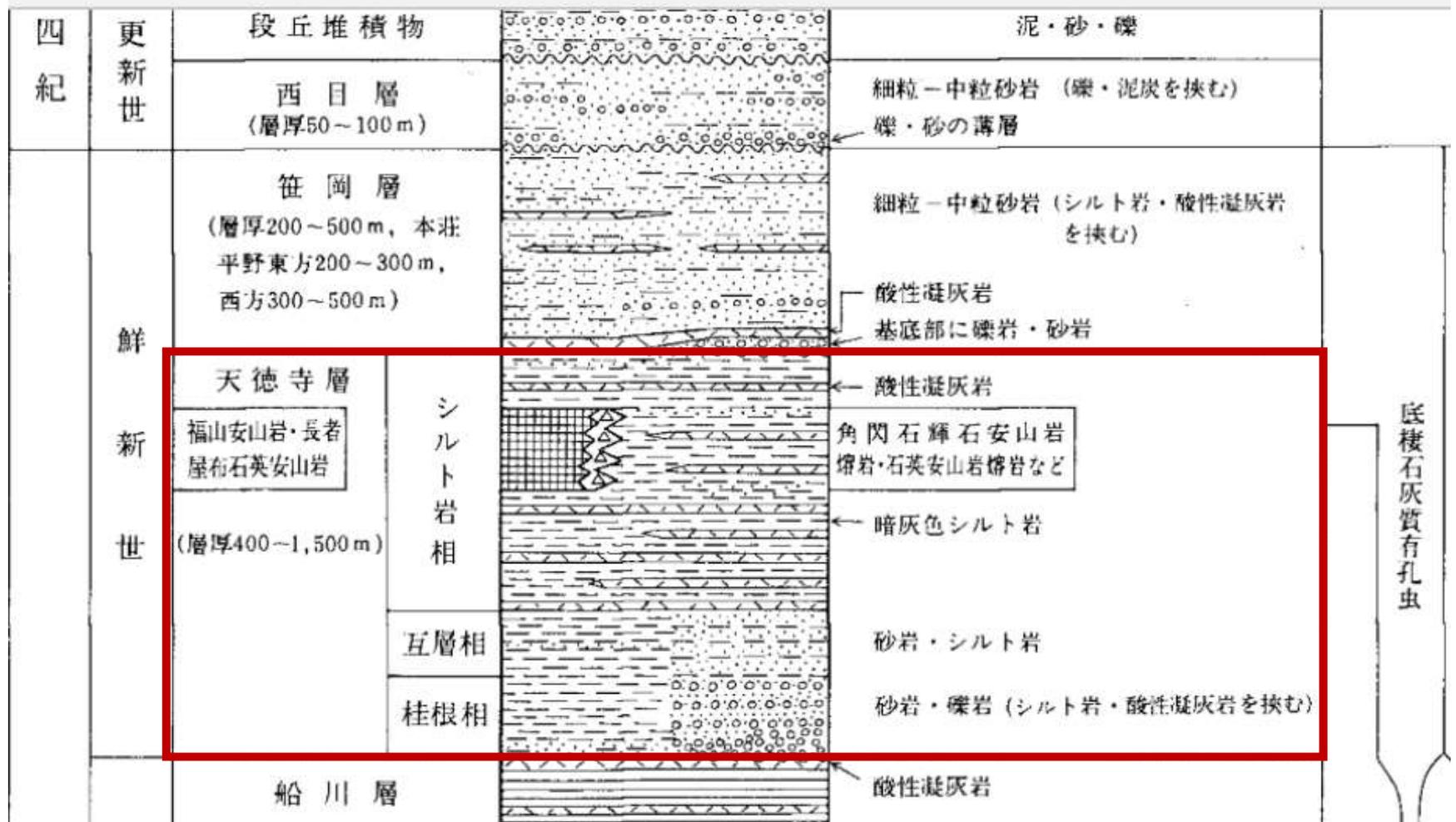


8.由利本荘市羽広（地点2を上方から撮影）





岩質はシルト岩あるいは砂岩とみられ、比較的均一な土層のため崩壊規模が大きくなったものと考えられる。



地質は鮮新世の天徳寺層とみられ，浸水の影響を受けやすい砂岩・シルト岩によって構成される地域である。

(図面引用元：大沢ら，本庄地域の地質，地域地質研究報告，昭和52年，p.5，https://www.gsj.jp/data/50KGM/PDF/GSJ_MAP_G050_06028_1977_D.pdf)



9.由利本荘市羽広軽井沢 矢立トンネル
手前
地図引用元：国土地理院 地理院地図
(電子国土Web)

9. 由利本荘市羽広軽井沢 矢立トンネル手前



ため池の護岸が雨水流入の侵食の影響で破壊されていた。

10.大仙市南外 新金屋橋

地図引用元：国土地理院 地理院地図

(電子国土Web)



10.大仙市南外 新金屋橋



新金屋橋の欄干に多数
の流木が堆積していた。

10.大仙市南外 新金屋橋



楢岡川の蛇行部にあたる農地が侵食・洗掘による被害を受けていた。

10.大仙市南外 新金屋橋（周辺）



新金屋橋周辺の道路においてもアスファルトの剥がれが多数確認された。

11. 大仙市南外岩倉（岩倉温泉）
地図引用元：国土地理院 地理院地図
（電子国土Web）



11. 大仙市南外岩倉（岩倉温泉）上流側から撮影

創業300年の古湯である岩倉温泉の入り口付近では、河川の自然護岸が増水により一部崩壊し、道路側も被害を受けていた。



11. 大仙市南外岩倉（岩倉温泉）下流側から撮影



道路は既に仮復旧されていたが、河川水が河川護岸を超え、道路センターライン付近まで侵食したことが分かる